

令和4年度第2回小牧市立図書館選書委員会会議録

1 開催日時 令和5年1月27日（金）午後3時30分～午後5時00分

2 開催場所 小牧市中央図書館 4階 多目的室

3 出席委員 委員長 松永 恒二
副委員長 丸山 真由美
委員 下尾 由子
" 前田 真理子
" 後藤 千津子

事務局 山田主幹
花里係長
平山
溝口

傍聴者 0名

4 議題 (1) 選書について
(2) 雑誌の休廃刊及び新規購入について
(3) その他

5 会議資料 選書資料

6 議事内容

(1) 選書について

選書資料1 『幕末・明治豆本集』について

【松永委員長】

すごくつまらないことを聞くのですが、書籍って昨今値段が上がっているのですか。

【事務局】

はい。急激というわけではないのですが、やはり税抜の本体価格が端数の1円単位だった本が、繰り上げての数字になっているとか、例えば新聞の単価が上がっていたりですとか、新聞の縮刷版は本にあたるのですが、こちらでも単価が上がっていたり、雑誌も毎月の単価が上がっています。少しずつ影響があって、高くなっているというのはあります。

【松永委員長】

そうですか、(今回の資料は)とても高い資料ばかりでちょっとびっくりしてしまつて。では改めて、選書資料1について、各委員よりご意見をお願いします。

【丸山副委員長】

私は可にしました。とても可愛くて色も美しく、日本特有の色遣いが素敵だなと思いました。もし私が甘味処を開くなら（この資料の中の）「すずめのお宿」の感じで作ってくださいと言いたいくらいです。可愛らしい絵が沢山でずっと見ていたいなと思える本でしたので、可にしました。

【後藤委員】

私は可です。私は絵本にとっても興味がありまして、昔話も好きでして。ただ昔話って残酷なところもあるので、今のお母さんはそのままで引いちゃいますから、少しずつ柔らかい表現にしているものもあるんです。でもこれを見るとあらすじで「かちかち山」なども（残酷な表現が）そのまま載っていて、それがどのような形で今に来ているのかと思うと、とても興味深いです。高いけれども、ぜひ買ってほしい本です。

【下尾委員】

私も可にしました。図書館ならではの、所蔵していただけるといい本ではないかなと思いました。豆本というのが読みやすくわかりやすいし、綺麗でしっかりしたものがこの中に盛り込まれていていいですね。この内容なら、価格はこのくらいしても当たり前だなと思います。

【前田委員】

私も可にしました。とても魅力的な資料だと思います。絵も鮮やかで色使いも綺麗で、昔こんな風に読まれていたのだなというのをすごく身近に感じられる本でした。（資料の中の）「ぶんぶくちやがま」というのを最初ぱっと見つけて、これが後半にもありまして、時代の流れに従ってこういう風に絵も変わって伝わってきているのだなとわかるいい資料だと思います。

【松永委員長】

私も可にしました。理由は皆さんと同じです。一番高い本ですが、それだけの価値がある本だと思います。

全員一致で購入可といたします。

選書資料2 『キリスト教文化事典』について

【松永委員長】

選書資料2について、各委員よりご意見を申し上げます。

【後藤委員】

私は可としました。この事典という形で、右の参考資料から20年ぶりくらいに研究のものが出たことと、あと奥付を見るととても沢山の専門の執筆者がいて、それぞれの専門家が与えられた項をきちんと書かれているのではと感じました。私はよく内容はわかりま

せんけれども、事典だという意味では今この時期に買ってもよいのかなと思いました。

【下尾委員】

私は、正直何度見てもよくわからないのが実感なのですがけれども、この本を読んで宗教を理解しようかなと思われる方がいらっしゃるならあってもよいのかなと思いました。可もなく不可もなく（保留）ということにしました。

【前田委員】

私も中間（保留）みたいな感じです。内容を理解しきれないというのが実感です。宗教が色々な音楽であったり、文化であったり、生活に根差したところにつながっているということがポイントの言葉で書かれていたので、内容を考えると図書館にあってもよいのかなとも思うのですが。ちょっと判別が付けづらいので、保留という形にさせてください。

【松永委員長】

私も真ん中（保留）になってしまいましたね。文化とか芸術とかとリンクさせている視点はすごく面白いなと感じているのですが、この豆本（資料1）の読みやすさと、イメージが広げやすく図表があったり本物の写真があるのと比べると、文字しかないのがすごく自分の中で疲れるなあと。前半の教義の部分なら類書があるし、こんな高い本をあえて買う必要があるのか疑問だなというのが理由です。

【丸山副委員長】

私も保留にさせていただきました。不可よりの保留です。もう少しカラーページがあると読みやすいなと思いました。社会福祉とか政教分離とか割と今注目されていることにキリスト教が深く関わっているのだなということや、教育への関わり方や慈善運動など生活の深いところにキリスト教が関わっていて思想のベースになっているというのは、この事典でよくわかりました。ですが、（この本の）活用の仕方がピンとこなかったもので、すみませんが保留にさせていただきました。

【松永委員長】

3人が買うとは言えない、ということになると不可という判断になってしまいますが、どうですか。今のところ、購入は後藤さんだけが、ご意見を変える方はいらっしゃいますか。

【後藤委員】

私も読みにくいとは思ったので、私は不可になっても特に問題ないです。

【松永委員長】

どうでしょうね、せつかく（選書資料として）選んでいただいた本なのに忍びないと思ってしまうところもあります。

【事務局】

委員の総意で決定していただいて問題ないです。

【松永委員長】

そうですか。では、後藤さんが譲っていただいたということで。もっと他の本でもよいのではと思ってしまう部分もありますしね。
購入不可とさせていただきます。

選書資料3 『マリー・キュリー』について

【松永委員長】

選書資料3について、各委員よりご意見を申し上げます。

【下尾委員】

私は可としました。部屋に入ってきて、自分の席の前にボンと本があって、最初は写真集かなと思ったのですが。資料を見て、写真がすごく綺麗ですし、マリー・キュリーがどんな生い立ちだったのかが1冊でよくわかる本だなという気がしました。

【前田委員】

私も可としました。表紙が(マリー・キュリーの)大きな写真で、装丁の表紙からも(目が)くぎ付けになってしまうし、開いてみると写真の資料が多くて、ノーベル賞を取られた有名な方だけでも、その事実の裏にどんな出来事があったのかがいろいろな資料から迫るものがありました。どうやって研究を続けたのだろうとか家族の事など、そんなところにも踏み込んでいると書かれていたので、すごいなあと思いました。豊富な資料がいいなと思っています。

【松永委員長】

私も可にしました。読み物として面白いですね。

事務局にお聞きしたいのですが、ここに書かれている6冊(選書資料1~6)の中で、この資料は異彩を放っているのですが、どうしてこの本を選ばれたのでしょうか。他の本は百科事典っぽいのですが、これは違うので。偉人伝というわけではないですね。これが(選書委員会の図書に)選ばれた意図というのはあるのでしょうか。シリーズ物でもないですね。

【事務局】

シリーズ物ではないです。この方(マリー・キュリー)は有名な方ではあるのですが個人の伝記が少ないということがありまして。ただ個人の伝記としてはお値段が張る資料なので、皆さんのご意見をいただきたく、今回選書委員会に入れさせていただいた次第です。

【松永委員長】

すごく目の付け所が面白くて、百科事典というよりは読み物だなあと思いました。このマリー・キュリーさんが終わったら、今度は例えば新渡戸稲造さんだとか、シリーズ化されていくなら面白いなと思ったのですが、そういった計画は出ていないのですか。

【事務局】

そうですね、こちらの本が出版されたのが2021年5月なのですが、現在シリーズとして他の方の資料が出ているわけではないので。

【松永委員長】

そうですか。

【下尾委員】

なんだか写真集みたいですよ。

【松永委員長】

そうですね、こういう本がずらっと並んでいたらいいなとすごく思いました。私も可です。

【丸山副委員長】

私も可にしました。今皆さんがおっしゃったようにシリーズだった良いなと思いました。今流行りの雑誌とか、30代の女性などが読むような構成になっているなど。字が大きくて、手紙が上手に散りばめてあって、文字が香ってくるような、すごく引き込まれる本でした。男女共同参画コーナーが下（図書館の1階）にあったのですが、あそこに並べてもいいなと思うような内容でした。大絶賛の可です。

【後藤委員】

私も可にしました。写真が多かったですし、空白がすごく上手に使ってあって、大きい文字小さい文字でバランスよく書いてあるのです。一と引き込まれました。きっと私のような一般的な女性は目がいくなと思ったので、ぜひ買ってほしいなと思いました。

【松永委員長】

ではこれは全員可ということで、購入可といたします。

選書資料4 『資料沖縄問題 増補』について

【松永委員長】

選書資料4について、各委員よりご意見をお願いします。

【前田委員】

難しい内容ですが、（図書館としては）沖縄の事はいろいろ資料を揃えていたほうが良い

など思い、可にしました。ただ内容的には文字が多いなど。でも後半には国会の発言の内容も全部組み込まれているので、(個人で) そんなにすぐ手にできるものでもないかなと思ったので、可です。

【松永委員長】

私も可とさせていただきます。資料的に価値が大きいかなと思います。実際にその当時の議事がどのように進んでいたのかという議事録の部分としては非常に読みごたえがあるなど。これは増補版ですが、旧版は所蔵していませんね。

【事務局】

はい、旧版は所蔵していません。

【松永委員長】

愛知県内の図書館でもこれだけ(旧版含め3館)しかもっていない資料を小牧が持つんだと思うと感慨深いものがあります。研究書としての意義が大きいかなと思い、可としました。

【丸山副委員長】

私も可としました。サンフランシスコ講和条約の議事録を初めて読みまして、こういうものが出版物として流通しているのだということに驚きました。今は憲法改正ですとか、防衛費のことですとか、かまびすしい世の中です。大学生の方などたぶん読まれたりすると思うので、こういう本があってもいいんじゃないかなと思いました。

【後藤委員】

(この本は) 私にはあまりにも文字が小さくて。愛知県図書館にもあることだし、私だったら読まないなと思ったので不可としたのですが、皆さんの意見を聞いて、資料としての価値があるのだったら可に変わろうかなと思い直しました。きっと読みたい人は字が小さくても読みますよね。可に変えます。

【下尾委員】

私は可としました。まずは表紙のブルーの色に惹かれました。何ブルーっていうのでしょうか、独特の色ですね。先程後藤さんがおっしゃったように、文字が多くて確かに読みづらくはあるのですが、ところどころ対談方式などになっており、沖縄の資料として置いておくだけの価値がある本だと感じました。

【松永委員長】

全員一致で可ですので、購入可とします。

【松永委員長】

選書資料5について、各委員よりご意見を申し上げます。
私からですね。自然災害科学というのが耳慣れないなあと思いながら、(値段が)高すぎないかなとは思いました。でも令和2年の新しいデータが入っている防災の事典とするならば、古くはないですし、語句の引き方として見やすくはなっているのはいいなと思いました。高いけれど買ってもいいかなという、消極的な可です。

【丸山副委員長】

私は保留にさせていただきました。それほど詳しい内容ではないのですが、各項目を見ると、入り口として、例えば中高生の調べ学習とかテーマ学習、大学入試の時に書くエッセイ的なものなどに使うのはいいのではと思いました。でもすみません、不可寄りの保留にさせていただきました。

【後藤委員】

よくわからなかったのですが、自分がこれを読むかという点でしか判断できなかったのですが、私なら読まないと思う内容でしたので不可にしました。私達がニュースで聞くような一般的なことしか書いていなかったの。私は読まないと思っただけですので、専門的なことはよくわからないのですが。

【下尾委員】

私は可にしました。災害は、毎年同じものじゃなくて、近頃は想定外が当たり前の時代になってきましたよね。災害に関するものは新しいものが図書館には必要だと思って。起きてからでは遅いので、必要。読むか読まないかは別として、図書館にあっていいと思いました。ただビジュアル的に図とか写真がもっと多いと身近に読めるのではないかとは思いました。

【前田委員】

私は、先程皆さんのおっしゃっていた言葉の中にも納得する意見が沢山あったのですが、可よりの保留にしました。こういう本はいま災害の多さを考えると、名称を見ただけでも必要かなと思っただけなのですが、ただ中身を見ると言葉の説明的な部分が多かったように思えて。(本の中で)ちょうど目にしたところなのですが、盛り土と切土の違いとか、いま話題になっていますけれども、こういうのを見て知りたいと思う方もいるかもしれないなど。後ろにあった補足の小さい資料はわかりやすく、こちらの方が手に取りやすいなと思いました。

すごく迷いましたが、あってもいいけれど可と言い切れない自分がいたので、可よりの保留にしました。

【松永委員長】

購入可、可よりの保留2人、不可よりの保留1人、不可1人。結構拮抗していますね。あってもいいのだけれども、丸山先生がおっしゃったように入り口として、結構平易な文

章で書かれているとは思いますが、これに 26,000 円払う価値があるかなあと。

【丸山副委員長】

そうですね。12,000 円だったら買ってでもいいかなと。

【松永委員長】

うーん、高い本ですね。

【後藤委員】

(事務局へ向けて) お金はあるのですか。予算ってどうなっているのかなと。

【事務局】

図書購入費としてはあります。小牧は15万人超の都市ですけれども、市内には計5か所の図書館があります。そのうちここは駅前にあり規模も大きい中央館になります。そうになると、小説などで人気がありリクエストがあって貸出をしていくような本も揃えますけれども、やはり調べ物に来る方のために答えていくという図書館の役割もあります。

皆さんがお感じになるとおり、この本が本屋に並んでいて自分のポケットマネーで買おうかと考えた時に、迷いますよね。何万もする本を個人で購入するのは難しい中で、そういった方が図書館に行けば調べ物で自分の興味関心のある分野の本が手に取れます。

災害は注目度の高い分野でニュースでも確かに流れたりもしますけれども、これは百科事典ですので、流れていってしまう情報ではなく、図書館に行って文字で調べたい方に向けてあってもいいのではないかということで、選書委員会にかけ資料にさせていただいたという観点があります。ただ中々高額ではありますので、皆さんにご意見を伺いながら購入を検討したいというのもあり、選書の資料に挙げさせていただきました。

【松永委員長】

今の事務局の言葉を聞いて、意見を変える方はいらっしゃいますか。

【丸山副委員長】

では私、不可よりの保留だったのですが保留にさせていただきます。あまり変わらないかもしれませんが。

【松永委員長】

ではひとつ、可側に動いたということで、購入する方向で動いてもよろしいですか。図書館でしか買えないというのは、その通りだなと思いました。

(全員首肯)

【前田委員】

確かに。それにこれは百科事典ですから、調べるための文言がちゃんと載っているとい

うのが大切ですよものね。

【松永委員長】

では、購入可とさせていただきたいと思います。

選書資料6 『イスラーム・ガラス』について

【松永委員長】

選書資料6について、各委員よりご意見を申し上げます。

【丸山副委員長】

すごく迷ったのですが、個人的にペルシャ帝国の歴史とかがすごく好きなので可とさせていただきました。もう少し写真があってもいいかなとは思いました。モザイクタイルなどはイランとかはすごく素敵なのでもっと写真で見たかったというのもあるのですが、お値段も手頃ですし。値段の事ばかりですみません。

【後藤委員】

可にしました。この内容もよくわからなかったのですが、著者の欄を見たところ、この研究の第一人者で2021年に若くして亡くなられたと書かれているのですよね。おそらくこの著者の研究の集大成としての本で、研究の内容を残しておくという意味で価値があるのではと感じました。(価格的にも)安いですし。

【下尾委員】

可にしました。これで私は今回全部可ですね。写真も綺麗ですし、検索数が比較的多いかなと思ったのと、なにより価格も魅力的でした。

【前田委員】

私も可にしました。色々なガラスの作品の中で、イスラームで造られたガラスが様々な国や地域への広がり元になっていると書かれていて。作品の美しさや、青の美しい色がたくさん並べられていて、「この青はどうやって作り出すのだろう」など写真を見て惹かれる部分があったので、ガラスの作品を知りたい、イスラームの作品を知りたい方にはいい本だと思います。

【松永委員長】

私も可にさせていただきました。ごめんなさいね、第一には値段ですね。すごく違和感を覚えている、なぜこちらの本が3万円で、この本(資料6)が7,920円なのだと。最初の豆本(資料1)は、中身がこれだけの質量と中身とカラー写真とで(読者を)惹きつけるのは値段相応だと思うと、他のものが異常に高く感じてしまうのですよね。書籍界にどういう事情があるのかなと。

関係ないことを言ってしまいました。イスラームのガラスについて興味がないわけではないですし、知る入り口として良い本かなと思ひまして、可とさせていただきます。

では、全員一致で購入可といたします。

(2) 雑誌の休廃刊及び新規購入について

【松永委員長】

(2)雑誌の休廃刊及び新規購入についてということで、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

事務局より、雑誌の休廃刊及び新規購入について報告させていただきます。
では、まずお手元の資料2「令和4年度 休刊・廃刊等雑誌リスト」をご覧ください。
今年度、休刊・廃刊した雑誌、一般書籍扱いとなった雑誌が10誌ございました。資料3「雑誌新規購入検討リスト」は、予算、内容、蔵書バランス及び利用者ニーズ等を勘案し、新規購入する雑誌を、図書館で選定した候補リストです。
このリストについてのご意見や、他にお勧めの雑誌がございましたら、ご発言をお願いします。
特にございませんか。

【丸山副委員長】

時代の流れを感じるなあと。「美術手帖」が休刊になったのはすごく話題になりましたよね。大学生の頃はこの雑誌を見て展覧会に行ったりしていたのでまさか廃刊になるなんて。こうやってみると（値段が）高いですね。

【事務局】

はい、歴史のある雑誌で、休刊は図書館としても驚きました。
語学の「イングリッシュジャーナル」などは、留学を希望されている学生さんが読まれたりする雑誌なのですが、おそらくコロナなどの影響で海外に行かれる方が減ったこともあり、購入する方が減ってしまい休刊に追い込まれてしまったのかと思われまます。
リスト3の新規購入のほうは、利用者さんから、もし雑誌を新しく購入開始する場合にはこんな雑誌がいいと購入リクエストで声が上がった中で、予算にも限りがありますので、一分野に偏らないようジャンルや蔵書のバランスを考えて、ちょうど休廃刊が10誌ありましたので、10誌程度を新しく購入していこうと考えております。
いま中央館には300誌ほど雑誌を揃えておりますが、たとえばもう少しこんなジャンルの雑誌があると良いなというご意見ですとか、個人的にこの雑誌が図書館にあったらいいなどありましたら、この場を借りてご意見をいただければと思っております。どうでしょうか。

【丸山副委員長】

新規購入リスト、いいと思います。

「FUDGE (ファッジ)」とか、今ファッション誌でとても人気がありますよね。

あと、タイトルを詳しくわからないのですけれど、ムックなのかな、表紙にアンド？と書かれた雑誌は（図書館に）ありますか。

【事務局】

「&Premium (アンド プレミアム)」でしょうか。

【丸山副委員長】

それです。あの雑誌はすごく素敵なので大好きです。図書館に入っていますか。

【事務局】

はい、中央と味岡で所蔵しています。

【丸山副委員長】

あと宝塚ファンの方が多いのでしょうか。「宝塚グラフ」と「宝塚歌劇」があって「おとめ」（「宝塚おとめ」）はなぜないのかなと思いましたが。

※「宝塚おとめ」は年1回発行の書籍扱い。

【事務局】

これからも雑誌の休刊というのはあると思っていまして、「週刊朝日」も止めるという情報があります。次は新聞かなと。こういった紙の媒体は少なくなっていくと思われれます。

【松永委員長】

本当に、「ザ・テレビジョン」も終わるとい話ですものね。紙媒体という言葉が無くなっていくのだろうと思いますね。

【事務局】

年配者には寂しくもあるところですが、若い人にはネットとかスマホとかタブレットとか（紙の雑誌ではなく電子が）当たり前になっていくのでしょうか。

報告事項は、以上となります。

【松永委員長】

その他、ご質問、連絡事項等はありませんか。

ご質問等ないので、事務局へお返しします。

【事務局】

ありがとうございました。では資料3の中から10誌ほど新規購入させていただくとい

うことで進めさせていただきます。

【松永委員長】

では（３）その他について、ご質問、連絡事項等はありませんか。
ご質問等ないようですので、事務局へお返しします。

【事務局】

長時間に亘り、ご協議いただきありがとうございます。

その他について、ご連絡させていただきます。

さきほど、山田主幹から選書委員会の趣旨を説明いたしましたが、この選書委員会は任期が２年となっており、委員の皆さまにおかれましては、今年度末までが任期となり、この第２回選書委員会が最後の委員会となります。

ご多忙の中、図書館の選書にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

次年度の委員の選出につきましては、後日改めて事務局より連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。

これをもちまして、令和４年度第２回小牧市立図書館選書委員会を終了いたします。

２年にわたり、ご理解とご協力を賜りましてありがとうございました。